

静電気学会-エアロゾル学会合同シンポジウム

大気汚染物質の除去に関する特別講演会

企画、主催	静電気学会、日本エアロゾル学会
後援	大阪府立大学
協賛	機械学会、電気学会、予定
開催日	2013年10月21日(月) 9.30~17.40
会場	大阪府立大学なかもずキャンパス, 学術交流会館多目的ホール 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 http://www.osakafu-u.ac.jp/access/

キャンパスマップは以下です (C1 棟、学術交流会館と書かれた建物)

<http://www.osakafu-u.ac.jp/data/open/cnt/3/1612/1/nakamozu2013.pdf>

開催趣旨

現在、世界では石炭火力による発電が増加しており、気候変動、大気汚染、健康影響などの問題拡大が懸念されます。わが国では1970年代から大気汚染浄化に取り組み、電気集塵機や空気清浄機などが研究・開発され、すでに商品化されておりますが、新興国ではいまだ未設置の場所が多く、わが国への影響が心配されております。特に新興国では自動車台数が激増し、自動車を排出源とするPM2.5の問題が大きくなっております。また、インフルエンザなどの感染症問題も大きくなっております。こうした背景から、大気圧プラズマはこれらの問題解決策として注目されています。

本シンポジウムでは、大気汚染除去とプラズマ医療に関する最新の研究成果や実用化技術について、各方面の講演者からの情報提供を通じて、問題解決の手段を探ります。この分野の研究者、技術者、学生にとってはもちろんのこと、環境問題について感心のある方々にとっても有益な講演会です。

第1部 大学での取り組み

司会 岡野一雄(職業能力開発総合大学校)、東野達(京都大学大学院)

9.30~9.35	開会の挨拶 エアロゾル学会会長	畠山史郎(東京農工大学教授)
9.35~ 10.05	プラズマ医療に関する世界の状況	水野彰(豊橋技術科学大学教授)
10.05~ 10.35	大気圧プラズマによる病原性微生物殺滅法と医療応用	佐藤岳彦(東北大学流体科学研究所教授)
10.35~ 11.05	高圧場コロナ放電による帯電ナノ液滴の発生と殺菌への応用	足立元明(大阪府立大学大学院工学研究科教授)
11.05~11.20 休憩		
11.20~ 11.50	グローバルな経済活動から考えるPM汚染	東野達(京都大学大学院エネルギー科学研究科教授)

11.50～ 12.20	中国のPM2.5と越境大気汚染	畠山史郎（東京農工大学大学院農学研究院教授）
12.20～13.20 昼食		
13.20～ 13.50	固定発生源からのPM2.5、ナノ粒子の排出挙動と排出抑制技術	神谷秀博（東京農工大学大学院工学研究院教授）
13.50～ 14.20	大気圧プラズマを用いた大気環境保全（NO, SO ₂ , N ₂ O, H ₂ , Hg）における応用技術	神原信志（岐阜大学大学院工学研究科教授）
14.20～ 14.50	プラズマ複合排ガス処理技術の基礎と産業応用	大久保雅章（大阪府立大学大学院工学研究科教授）
14.50～ 15.20	エアフィルタによるPM2.5の除去	大谷吉生（金沢大学大学院自然科学研究科教授）
15.20～15.35 休憩		

第2部 企業の取り組み

司会 黒木智之（大阪府立大学）、浦島邦子（科学技術・学術政策研究所）

15.35～ 16.05	空気清浄機業界の動向紹介	稲永康隆（三菱電機 先端技術総合研究所）
16.05～ 16.35	大気圧下プラズマ放電により生成された正極性および負極性のクラスターイオンによる空気清浄技術	西川和男（シャープ株式会社 PCI・LED 照明事業推進本部 プラズマクラスター機器事業部第三技術部部長）
16.35～ 17.05	帯電微粒子水による室内有害物質の抑制	須田洋（パナソニック（株）アプライアンス社技術本部ホームアプライアンス開発センター主幹技師）
17.05～ 17.35	ストリーマ放電を用いた空気清浄機による大気汚染物質除去	香川謙吉（ダイキン工業株式会社 環境技術研究所主任研究員）
17.35～ 17.40	閉会の挨拶 静電気学会会長	水野彰（豊橋技術科学大学教授）

第3部 交流会 18.00～20.00

司会 浦島邦子（科学技術・学術政策研究所）

定員 70名（申込み先着順、定員になり次第締め切ります）

参加費 学会会員5,000円、学生会員1,000円、会員外10,000円、
会員外学生3,000円 交流会費 5,000円

申込方法、問い合わせ先

下記の情報を記入の上、静電気学会事務局へメールにて、**10/15**までに申し込みしてください。

あて先 iesi@iesi.org

- ① 氏名、②所属先、③住所、電話、メールアドレス、④所属学会と会員番号（静電気学会、エアロゾル学会、その他）、⑤会員のステータス（学会員、学生会員、非会員、学生非学会員）、⑥交流会参加（する、しない）